

県が選定した施設について

<スポーツ施設>

施設名	Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu（等々力陸上競技場）	
所在地	川崎市中原区等々力 1-1	
施設 イメージ		
施設概要	川崎市中原区の等々力緑地内にある多目的スタジアム。約 27,000 人を収容でき、Jリーグ「川崎フロンターレ」のホームスタジアムである他、陸上競技やラグビー国際大会にも対応した市民利用可能な施設である。全天候型のブルートラックと、天然芝のフィールドを有する。施設面積：43,957.04 m ² 。	
募集内容 （募集テーマ）	1 鳥糞被害への対策による観客が安心して観戦できる環境づくりの実現	
施設課題と 課題解決後 の施設の姿	課題	目指す施設の姿
	● スタンド屋根に飛来する鳥の追い出し・飛来防止対策の必要性	● 鳥糞被害を無くし、観客が安心して観戦できる環境づくりを実現したい。 ● 試合直前まで行っているスタンド座席の清掃負担を軽減することで、スタンド座席に限らず、スタジアム全体の清掃に十分な時間を確保し、施設管理の質の更なる向上を図りたい。

＜児童福祉施設＞

施設名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口 Thank you	
所在地	藤沢市辻堂神台 2-2-2 ココテラス湘南 3 階	
施設イメージ	 	
施設概要	辻堂駅北口より徒歩 5 分の「ココテラス湘南」3 階に位置する、障がい児通所および相談支援を行う児童福祉施設である。日定員 10 名の小学生を対象としており、施設面積は 93.67 m ² (1 フloor) である。	
募集内容 (募集テーマ)	1 施設に通う児童への福祉サービスの向上や、職員の業務効率化の実現	
施設課題と 課題解決後 の施設の姿	課題	目指す施設の姿
	● 児童とロボットとのコミュニケーションや、ロボットによる児童の見守りを通じて、サービスの質を向上させる必要性 ● 施設職員が行う記録・管理業務等を効率化する必要性	● ロボットを通じたコミュニケーション体験による児童・保護者の満足度の向上や、データ活用によるサービスの質の向上を実現したい。(例. コミュニケーション記録の活用による個別支援計画・育成計画の質の向上等) ● ロボット活用による見守りの強化。 ● ロボット等を活用して職員の記録・管理業務等を自動化し、業務の効率化と職員の負担軽減を実現したい。 (例. 児童の入退室管理、保護者への通知、体温計測、職員の能力評価等)

<娯楽施設>

施設名	サープラ横浜あそびタウン	
所在地	横浜市都筑区中川中央 1-25-1 ノースポート・モール 6 階	
施設イメージ	   	
施設概要	横浜市営地下鉄センター北駅前に立地する複合商業施設「ノースポート・モール」内に入居しているゲームセンター（床面積：約 3,300 m²）である。世界最大級のクレーンゲーム街として、500 台以上のクレーンゲームを設置しており、平日は約 1,000 人/日、休日は約 3,000 人/日の来客がある。	
募集内容 （募集テーマ）	1 効率的な店内物流業務の実施とエンターテインメント性を加えた搬送ロボットの運用	
施設課題と 課題解決後 の施設の姿	課題 ● 広範な店舗内の搬送業務（機器からの集金・補充、景品等の搬送）の効率化やスタッフの負担軽減の必要性	目指す施設の姿 ● 搬送ロボットを導入することで、重い硬貨をゲーム機や両替機の下部から屈んで回収・補充・運搬するスタッフの作業負担を軽減したい。 ● 搬送業務の効率化により、空いたリソースを接客等のより付加価値の高いコア業務に振り向けたい。 ● ゲームセンターの雰囲気合った外装・装飾や、エンターテインメント要素の追加によって、単なる搬送業務にとどまらない「楽しさ」を演出したい。 （例. 拍手ロボットとの連携等）